



令和3年12月2日

報道関係者 各位

第18回松平文庫・島原城保管文書 史料調査の実施について

標記の件について、下記（別紙）のとおり開催しますのでお知らせします。

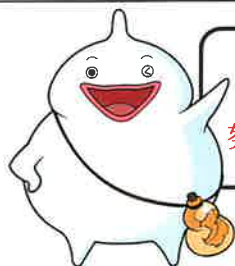
記

1. 日 時 12月7日（火）から10日（金）まで 9時30分～17時

2. 場 所 島原図書館 視聴覚ホール

3. 参加者 九州大学准教授 岩崎 義則（7～9日参加予定）
久留米大学教授 吉田 洋一（9日参加予定）
佐賀大学教授 伊藤 昭弘（8・9日参加予定）
佐賀大学講師 三ツ松 誠（7・8日参加予定）
佐賀女子短期大学講師 久保 知里（8～10日参加予定）
長崎県立大学教授 松尾 晋一（7～9日参加予定）
元長崎歴史文化博物館学芸員 大塚 俊司（9日参加予定）
熊本学園大学准教授 村上 義明（10日参加予定）

4. 概 要 本市では、平成30年度から国の補助を受け、令和5年度までの6ヵ年度で、肥前島原松平文庫および島原城に保管されている古文書や歴史資料の調査を実施しています。これらの調査を通じて未整理だった古文書や歴史資料の価値を明らかにし、城下町・島原の歴史を伝える地域の宝として公開・活用できるように整理していきます。



島原守護神 しまばらん

【担当から一言】

調査に際しては消毒液を設置して新型コロナウイルス感染拡大防止に努めます。取材の際には事前にご連絡ください。

担当：島原市教育委員会 社会教育課 文化財保護推進室

担当 吉田 信也

電話：0957-68-5473

E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp

松平文庫・島原城保管文書史料調査概要

【事業目的】

島原市は、旧島原藩主・松平家から寄贈された歴史的な史料（肥前島原松平文庫（長崎県指定有形文化財））をはじめ、島原藩の藩士家に伝えられた数多くの史料を所有しています。肥前島原松平文庫は目録が刊行されていますが、その他の史料については、ほとんどが未調査、未整理で、目録も刊行されていません。

島原藩や近代島原の歴史について調査研究を進めるために、これらの未整理史料約13,000点を早急に調査・整理し、報告書（目録）を刊行し、情報発信を行います。

また、調査のなかで得られた新知見をもとに、企画展示やシンポジウムなどを積極的に行います。こうした一連の事業を通じて、広く内外に島原の新たな歴史像・地域像を発信・提示し続けることで、島原市が所有する貴重な史料を地域の活性化に役立てます。

【全体の事業期間】

2018年度から2023年度までの6年間調査を実施し、調査報告書（目録）を刊行します。

【事業体制】

補助事業者 長崎県島原市

【本年度総事業費および補助金額・補助率】

総事業費	2,601,057円
島原市（事業主体）	1,041,057円
長崎県補助金	260,000円
国庫補助金	1,300,000円

【本年度調査内容の概要】

深溝松平家資料や霊丘神社資料などの松平文庫所蔵資料、および島原城保管文書資料について、合計3,881点を調査し、調書を作成しました。

【活用の予定】

島原図書館1階にある松平文庫展示室で、令和2年度に実施した本事業で調査した資料の紹介を行います。（令和3年9月頃 →12月～2月実施）

令和2年度は、島原城が保管する資料や猛島神社資料、柳沢家や中根家など、旧藩士家に伝わった資料を調査しました。

島原城が保管する資料は、通常展示している絵図や古文書のほか、旧藩士家である羽太家や鈴木家に伝わった古文書や古典籍などの資料を調査しました。

その他、中根家や小早川家など、旧藩士としての江戸時代のものだけでなく、明治期以降の動向も伺える資料を調査することができました。



忠房公御代島原家中分限帳
（島原城保管資料）



本事業は、文化庁地域活性化のための特色ある文化財（美術工芸品）調査・活用事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2020